

進行・再発癌 術後補助化学療法 術前補助化学療法 大量化学療法 局所療法 その他(放射線治療併用)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ジェブタナ	25 mg/m <sup>2</sup>	dic	60分	d1
2	プレドニゾン	5mg/body	経口		連日

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間
総コース数	PDまたは副作用が許容できなくなるまで
コース間での休薬の規定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好中球&lt;1,500/mm<sup>3</sup></li> <li>・発熱性好中球減少症(FN): Grade 3</li> <li>・下痢: Grade3</li> <li>・末梢性ニューロパチー: Grade2</li> </ul>

減量規定・中止基準	#減量: 20mg/m <sup>2</sup> に減量 ・好中球<500/mm <sup>3</sup> が1週間以上 ・FN発現 ・PLT減少<2.5 万/mm <sup>3</sup> (治験時) ・AST、ALT、T-bil>施設基準値の1.5 倍(治験時) #中止 ・末梢性ニューロパチー: Grade3
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	・プレメディケーション: 30分前までに、デキサメタゾン6.6 mg、ファモチジン20mg、レスタミン10mg 5錠の投与を完了すること ・ポストメディケーション: day2以降に持続型G-CSF

## 患者条件

※CTCAE v4.0

- ・前立腺癌
- ・骨髄機能が保たれている患者

## 除外規定

- ・重篤な骨髄抑制のある患者
- ・感染症を合併している患者
- ・発熱を有し、感染症の疑われる患者
- ・肝機能障害を有する患者
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

## 実施上の注意点

- ・骨髄抑制が強いため、**初回より20mg/m<sup>2</sup>を考慮する(2016.5時点)**。
  - ・アルコールに過敏な患者、生食で溶解は不可(2016.5時点)
- 参考: ジェブタナ60mg : 573.3mg/1V、ドセタキセル80mg : 764.4mg /1V
- ・間質性肺疾患、または既往歴あり
  - ・浮腫、腎機能障害がある患者
  - ・0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを通して投与すること。